

市長発言要旨

【発表事項】

①米沢観光推進機構幹事会について

本日、米沢観光推進機構の幹事会がありました。議題については、①令和6年度米沢観光推進機構運営費補助金の交付決定が遅れた件について、②令和4年度から令和6年度までの事業の検証についてでありました。この度、改善策等を説明し、お詫びを申し上げた上で、幹事会において了承をいただいたところでありますので、この場でご報告をさせていただきます。

②いわゆる103万円の壁の見直しによる影響について

いわゆる103万円の壁の見直しについてであります。本市においても、仮に控除額を178万円に引き上げた場合の影響額を試算したところ。結論としては、個人市民税への影響額は約12億6600万円となります。これは、当初予算ベースでの本市の市税収入約105億5400万円のうち、個人市民税分が約32億円でありますので、この約1/3に相当する金額となります。予算編成にも大きな支障を及ぼすものとなりますが、このことは全国の首長においても共通の話題となっており、地方財政全体にとっても影響が大きいものとなっています。政府において様々な案が出ておりますので、その推移を見守りたいとは思いますが、上京の機会等を捉え、地方における影響を抑えていただけるよう要望していく必要があると考えているところです。

【回答事項】

①「市長就任からまもなく1年となりますが、現在も不在の副市長について、どのようにお考えでしょうか。候補者等はいらっしゃいますか。」に対する回答

副市長の人事案件につきましては、12月定例会に上程する予定はありません。これまでもお答えしているとおり、副市長は必要であると認識していますので、良い人選ができるように熟考中であります。年明けにはなりますが、そう遠くない時期に議会へお示ししたいと考えています。候補者の有無につきましては、当然該当する方はおりますが、このような人事案件は発表がすべてでありますので、この場で途中経過を申し上げることは控えたいと思います。

教育長はじめ幹部職員の皆様には、管轄外の事項についても様々な発言をしてもらいながら職責を十分に果たしていただいているため、副市長不在による業務上の問題は特段ないものと考えています。私と価値観や目標を共有できる方であり、かつ、私に不足する部分を補っていただける方に副市長として就任していただきたいと思っています。

②「米沢市でも今月19日に降雪がありました。公約にも掲げていた雪対策について、決定していることがあれば教えてください。」に対する回答

これから冬本番となります。私の公約にも掲げた除雪に関し、新しい除雪運行システムが今シーズン

から本格稼働いたします。具体的には、本市が委託する業者の除雪車両に設置した GPS 端末で、除雪車両の位置情報や作業状況などの除雪作業データを取得し、公開地図サイトを通じて市民への「除雪作業の見える化」を図ります。また、除雪車運行管理システム導入に併せ、精算方法について、出勤した回数で支払われていた「距離精算」から、作業した時間で支払われる「時間精算」へ変更しますので、積雪量や降雪量に応じた「きめ細かな除雪作業」が行われるようになり、除雪車運行管理システムで取得した除雪車の軌跡管理データを解析することで、適切な車両配備や経路の最適化による路線の見直しなど効率的な除雪作業の推進が図られます。

なお、市民への「除雪作業の見える化」につきまして、市ホームページで12月中旬からプレ公開を予定しています。

加えて、排雪作業の予算の上積みであります。例えばダンプトラックを使用した排雪作業は、冬期間における道路交通ネットワーク形成上必要な幹線道路（第1種除雪指定路線）は市で排雪作業を行いますが、その他除雪路線（第2種・第3種除雪指定路線）は、地域で組織された任意団体（除排雪協力会）による排雪作業をお願いしており、従来は3回目以降の排雪作業に係る運搬費用の1/2を助成していました。これを今シーズン当初から、1回目の排雪作業に係る運搬費用の1/2を助成することにしました。これにより、これまで助成対象である3回目の排雪作業までは作業が抑制される傾向があったため、相当雪が溜まっていたものが、早い段階での排雪作業がしやすくなり、こまめな排雪作業が期待できるものと考えています。予算の上積みとはなりますが、きめ細かな除雪・タイムリーな排雪という公約実現のため必要な経費であると考えますので、こういった運用を始めるものです。精算方法の変更などで、事業者の方々ができる限り混乱しないように努力し、ご協力をいただきながら雪対策に万全を期していきたいと考えています。